

1. 科目名 (単位数)	知的障害教育Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350
2. 授業担当教員	加藤 洋子		
4. 授業形態	知的障害教育Ⅰを踏まえた講義・演習・模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	知的障害教育Ⅰを先に受講することが望ましい。		
7. 講義概要	本科目では、知的障害教育Ⅰで学んだ理念や知識をふまえ、医療・福祉・労働など近接分野の最新の動向に関心を広げつつ、キャリア発達支援、保護者との安定した関係の構築、外部専門家との有機的な連携を視野に入れた学習を行う。また、個別的教育支援計画、個別の指導計画、学習指導案の作成を通して、実態評価や教材作成、指導方法の基礎知識も身につけ、多様な実態に対応できる実践力、即戦力を身につける。		
8. 学習目標	【期待される効果】以下に関して「知的障害教育Ⅰ」で学んだ基礎知識を応用し、初歩的な実践ができる。 ① 知的障害者を取り巻く社会事情のさらなる理解。 ② 知的障害の実態把握・アセスメント。 ③ 多様な実態に応じた個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成。 ④ 個に応じた教材・教具の考案と工夫。 ⑤ 学習指導要領の内容を踏まえつつ個々の実態に応じた指導案の作成。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	グループで「各教科等を合わせた指導」についての模擬授業を行う。 ・児童生徒の実態を決め、役割分担をして、教材教具を工夫し、指導案を提出してください。 ・指導案は、展開部分は共通でも、「指導観 (題材観、児童生徒観、教材観)」の部分を各自考えて、全員が提出してください。 ①児童生徒の実態を決め、役割分担をして、教材教具を工夫して作成し、指導案と併せて提出して下さい。 ・指導案は、展開部分は共通でも、「指導観 (題材観、児童生徒観、教材観)」の部分を各自考えて、全員が提出してください。 ②教育指導計画・教育支援計画・教材づくりを実践的に学び模擬授業を体験する。 ③ICTによる障害児童や保護者との面談・交流・模擬授業を体験し、特別支援教育の実践力を身につける。 ④グループで知的障害、発達障害、自閉スペクトラム症、てんかん等の定義、特性、教育環境についての合理的配慮点などをまとめ発表すること ⑤文部科学省「生きる力」の教育「知的障害教育」について学び要点をまとめる。 ・本授業は、アクティブラーニング方式でグループワークにより事前事後学習、発表を行い「学ぶ」「気づく」の主体的学習姿勢・グループでの役割認識を重視する。 ・本授業は、アクティブラーニング方式でグループワークにより事前事後学習、発表を行い「学ぶ」「気づく」の主体的学習姿勢・グループでの役割認識を重視する。 グループで「各教科等を合わせた指導」についての模擬授業を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	「病弱児教育総論」「知的障害教育Ⅰ」で使用した教科書を継続使用 参考書】①文部科学省『教育支援資料』 Web サイト http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.htm ②文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂 2018。 ③文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂 2018。 ④文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂 2018。 (①～④は、「知的障害教育Ⅰ」と共通。)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 各種教育計画の概要がわかり、指導計画を作成するための基礎を理解したか。 2. 知的障害者を取り巻く、就学前や就労に関する医療や福祉の制度にも関心がもてたか。 3. 事例の実態把握及び対応についての基礎的知識が身に付き、指導案作成から授業実践までのイメージをもつことができたか。 ○評定の方法 実際に教壇に立ったときに、教師としての計画性と柔軟性をもって実践できるかを念頭において評価する。 1 模擬授業 (発表態度、内容) 総合点の 3 0 % 2 授業での態度 総合点の 2 0 % 3 論文課題・期末試験 総合点の 5 0 % *なお、本学規定の「3 / 4 以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。		
12. 受講生へのメッセージ	①春期の内容をふまえて講義・演習を実施しますので、春期の教科書を振り返りながら参加してください。 ②機会を捉えて特別支援学校でボランティアをするなど子どもたちの実際の様子を知る体験を積み、教育実習に備えてください。 ③現場に出たときの自分をイメージしながら発表や演習を行って下さい。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション／発達障害とその歴史 (再確認) 知的障害者を取り巻く世界	事前学習	「知的障害教育Ⅰ」で学んだ内容を振り返っておく。
		事後学習	模擬授業を行なうための仲間作りや下調べ

			をしておく。
第 2 回	特別支援教育に関する最近の動向	事前学習	「群馬の特別支援教育」を読んで、疑問点を挙げておく。
		事後学習	自分の出身都道府県の「特別支援教育」に Web で調べておく。
第 3 回	知的障害教育における各種教育計画	事前学習	春期の教科書で、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を読んでおく。
		事後学習	上記計画の作成が義務化されている根拠を学習指導要領解説で確認しておく。
第 4 回	知的障害特別支援学校における学習指導案づくり	事前学習	春期の教科書で、「指導案作り」、「評価と記録」を読んでおく。
		事後学習	グループで、模擬授業の計画を立てる。
第 5 回	実態把握とアセスメント	事前学習	春期の教科書で、「発達検査・診断」を読んでおく。
		事後学習	学習したアセスメント方法を自分でできるようになっておく。
第 6 回	知的障害を伴う子どもの発達支援と教材・教具	事前学習	春期の教科書で、「障害児教育における教材・教具」を読んでおく。
		事後学習	教材・教具をなぜ使うかについて説明できるようにしておく。
第 7 回	知的障害を伴う子どもを対象とした授業の実際	事前学習	「知的障害」について教科書を読んでおく。
		事後学習	言語以外のコミュニケーション方法を多用して授業を進めるイメージをもつ。
第 8 回	自閉スペクトラム症（ASD）や ADHD の行動特性と対応	事前学習	春期の教科書や「教育支援資料」で、ASD や ADHD に関する部分を読んでおく。
		事後学習	ASD や ADHD の行動障害への対応のポイントをまとめておく。
第 9 回	キャリア教育と就労支援 学校教育と危機管理	事前学習	春期の教科書で、「キャリア教育・進路指導」「障害者のライフステージと教育・福祉」を読んでおく。
		事後学習	「キャリア教育」について、理念や法的根拠について説明できるようにしておく。
第 1 0 回	「日常生活の指導」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	特別支援学校で起こる「危機」とは何か、考えておく。
		事後学習	「通常の危機」と「災害時の危機」について教師の役割をまとめておく。
第 1 1 回	「「知的障害教育総合」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	文部科学省「生きる力」から「知的障害」を読んでおく。グループでの役割分担業務を遂行する
		事後学習	「模擬授業の教材づくり・計画案をまとめておく。
第 1 2 回	「知的障害教育総合」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	「模擬授業の教材づくり・計画案を作成しておく。グループでの役割分担業務を遂行する
		事後学習	「模擬授業の教材づくり・計画案をまとめておく。
第 1 3 回	「知的障害教育総合」の実際と指導計画・模擬授業	事前学習	指導計画・ワークノートに記載し、教材等、授業の準備を行う。
		事後学習	「知的障害教育」の模擬授業の実践についてグループワークから気づいたことをまとめておく。
第 1 4 回	自立活動」の概念理解と指導計画・模擬授業	事前学習	自立活動の 6 区分 27 項目について説明できるようにしておく。
		事後学習	「自立活動」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。
第 1 5 回	知的障害教育の教育課題 （まとめ）	事前学習	配布されたプリントについて、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	提示された試験のポイントを再確認しておく。
期末試験			